



小さな一歩がつながる

ふだんの

くらしが

しあわせな まち







令和9年度～令和14年度

パブリックコメント実施中
令和8年11月4日～12月2日



あったか府中 ささえあいプラン

府中市に暮らす・働く・通うすべての方に、
読んでほしい計画です！

第5次 地域福祉活動計画

（案）

















令和8年●月 発行
発行者：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
〒183-0055　府中市府中町1-30　ふれあい会館内
電話：042-364-5137　FAX：042-362-9090
ホームページ：https://www.fsyakyo.or.jp/
メール：mail@fsyakyo.or.jp

2次元コードから
ホームページへ

SNSは
こちら

Instagram

Facebook

X

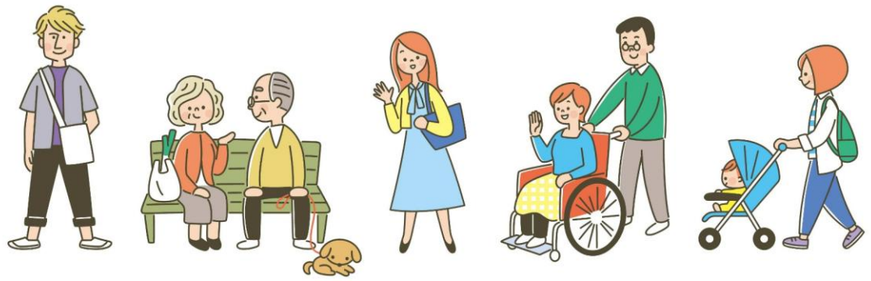




社会福祉法人
府中市社会福祉協議会



「あったか府中ささえあいプラン」を手に取ってくださった皆様へ



あったか府中ささえあいプランは、このまちに関わる誰もが、「どこかで誰かとつながっている」という安心を抱き、自分らしく暮らせることを願って、社会福祉協議会が、府中市を想う多くの皆さんと一緒に考えて策定したものです。



このプランを一緒に進めていきたいのは府中市に関わるすべての方です

「すべての方」とは……

- 府中市にお住いの方
- 仕事や学校等で府中市にゆかりのある方
- 地域福祉活動を行っている組織・団体
- 企業・法人等
- 公的機関や福祉事業所等





はじめに

目次

●データで見る府中市……1

●計画の概要……3

●基本理念（目指す まち のすがた）……5

●「いま」「みらい」「みらいのために」……7

●「一歩踏み出す」ための相談先……10

●「どんな活動に向いているかな？」チェックシート……11

●一歩踏み出すヒント　その１
「府中市内でできる　タイプ別活動紹介」……13

●一歩踏み出すヒント　その２
「わがまち支えあい協議会のご紹介」……15

●府中市社会福祉協議会が取り組むこと……21

●第５次地域福祉活動計画策定委員会について……22

●調査等……27





データで見る府中市



- **世帯数：134,623世帯**

  出典：府中市住民基本台帳
  （令和8年10月1日現在）



- **人口：263,429人**

  （うち外国人）6,987人

  出典：府中市住民基本台帳
  （令和8年10月1日現在）



- **高齢化率：22.9%**

  ※65歳以上の人が占める割合
  出典：府中市健康・福祉に関するオープンデータ
  （令和8年4月1日現在）







- **合計特殊出生率：1.04人**

  ※15～49歳までの1人の女性が
  一生の間に産む子どもの平均数
  出典：東京都保健医療局「令和６年 東京都人口動態統計年報（確定数）」

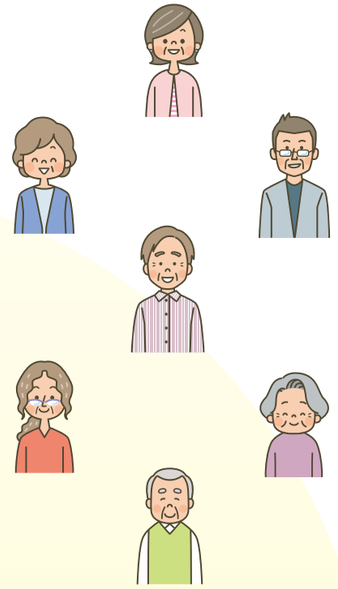


- **障害者手帳所持者数**

  身体 7,395人　知的 2,492人　精神 3,967人

  出典：府中市障害者福祉課資料（令和8年3月31日現在）





- **民生委員・児童委員数：177人**

  （令和8年10月1日現在）

- **町会・自治会数：374団体**

  出典：府中市地域コミュニティ課資料（令和８年４月1日現在）

- **町会・自治会加入率：48.0%**

  出典：府中市地域コミュニティ課資料（令和８年４月1日現在）

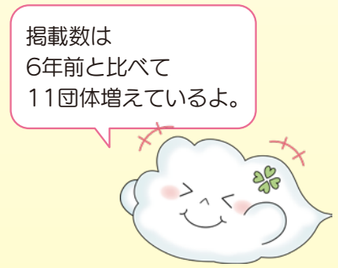
- **わがまち支えあい協議会の数：11圏域（全圏域）**

  ※15ページ参照

- **ふれあいいきいきサロンマップ**

  掲載数：90カ所（令和8年4月1日現在）

  ※府中社協が発行している、府中市内の居場所づくりを
  している団体をまとめたマップ。



- **何らかの地域活動・ボランティア活動に
  取り組んでみたいと思っている人：55.6%**

  出典：「あなたの声が未来をつくる」
  福祉に関するアンケート調査







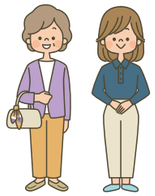
計画の概要

1. 地域福祉とは



地域福祉とは、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、地域に暮らすすべての人が安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域の住民や団体、関係機関が力を合わせて支えあう取り組みのことです。身近な困りごとを、みんなで考え、みんなで解決していく考え方です。

2. 地域福祉活動計画とは



地域福祉活動計画は、地域の困ったことを安心に変え、私たちのまちが5年後、10年後も住んでいて良かったと思える場所になるように、市民の皆さんと社会福祉協議会が一緒に取り組む地域の支えあいの設計図です。

3. 計画の位置づけ

この地域福祉活動計画は、分野ごとに定められた府中市の福祉に関する計画と連携した計画であり、地域福祉推進の一翼を担う計画として位置づけられています。

また、この計画の実施のために社協が取り組むべき事項を「社会福祉法人府中市社会福祉協議会　中期経営計画（以下、中期経営計画）」に定め、連動して計画の推進を図ります。

府中市地域福祉計画
福祉のまちづくり推進計画

整合性

府中市社会福祉協議会
地域福祉活動計画

府中市社会福祉協議会
中期経営計画

4. 前計画（第4次地域福祉活動計画）について

⑴ 計画の概要

・計画の期間　令和3年度～令和8年度の6年間
・基本理念　「気づく・動く・つながる!!みんなが主役！地域で支えあうまちづくり」
・重点目標　「わがまち支えあい協議会」の推進

⑵ 成果と引き続いての課題

成果・わがまち支えあい協議会を全市展開
・重層的支援体制を構築
・企業、団体との協働を拡大

課題・個別支援と地域支援との円滑な結びつきの強化
・企業等と関係を保ち、地域活動へ広く展開する取組み
・環境整備等により、ささえあい活動を継続的に支援する体制づくり

※前計画では、計画の進行や評価について社協の取り組みを評価してまいりました。
ここで明確になった課題は、府中社協の「中期経営計画」へ引き継ぎ、取り組んでまいります。

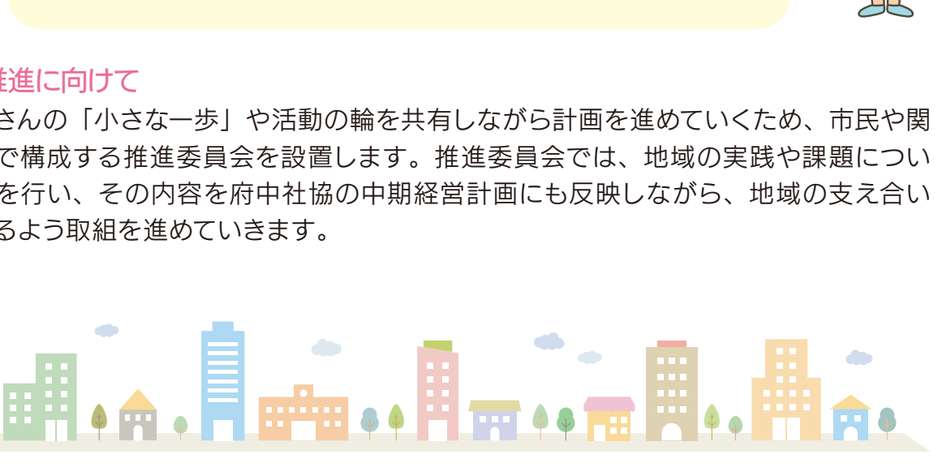
5. 第５次地域福祉活動計画について

⑴ 計画の期間

令和9年度～令和14年度までの6年間

⑵ 計画の策定体制

この計画は、市民等により構成される「第５次地域福祉活動計画策定委員会」を中心に策定しました。※委員の構成については、22ページをご参照ください



⑶ 計画の推進に向けて

市民の皆さんの「小さな一歩」や活動の輪を共有しながら計画を進めていくため、市民や関係団体などで構成する推進委員会を設置します。推進委員会では、地域の実践や課題について意見交換を行い、その内容を府中社協の中期経営計画にも反映しながら、地域の支え合いの輪が広がるよう取組を進めていきます。

基本理念（目指す まち のすがた）

小さな一歩がつながる ふだん　の くらしが しあわせなまち

い　ま

まわり に
こんな人は
いませんか？

不安なときに
気軽に話せる人が
いない



暮らしで
困っている
ことがある



相談先が
わからない



まちや人のために
なにかをしたい



みらい

こういう まち に
なったら いいな

ひとりぼっちに
ならない



困ったときに
相談しやすい



居心地がいい



「やってみたい」を
形にできる



みらいのために

「いいな」を形にするために



まち のこと、身近なことに、目を向けてみませんか？

- 「ふくし」や「ささえあい活動」について調べてみる
- 身近にいる人の「いつもとちがう様子」や「困りごと」を気にかけてみる



できることからやってみませんか？

- 興味のある活動に一度参加してみる
- 気になる人に声をかけてみる
- 困っていることを社協や相談先に伝えてみる
- 職場で 地域のためにできることを考えてみる



社協が取り組むこと

- つながりと居場所づくりを進めます
- 自分らしい暮らしを支えます
- 相談しやすく安心できる支援体制を整えます
- 地域で学び、参加できる機会を増やします

詳しくは21ページへ ➡

一歩踏み出すためのヒント

⬇ 13ページから



いま ～「まち」の気になること～



不安なときに気軽に話せる人がいない

- 個人情報の問題もあり、回りの人に声をかけづらい。
- 人とつながるきっかけがない。
- 地域にちょっと立ち寄ったり、話ができたりする場所がない。
- 一人暮らしで身寄りがいないので、今後が心配。



暮らしで困っていることがある

- だれにも頼れず、たくさんの困りごとを抱えている。
  （ひきこもり、生活に困っている世帯、8050問題※1、ヤングケアラー※2など）
- 介護や福祉のサービスだけでは、解決しない悩みがある。
- 自分の住んでいるまちの問題について、知る機会がない。
- 災害時に、避難できるか不安がある。



相談先がわからない

- 困りごとの相談窓口がわからない。
- 窓口がバラバラで、どこに頼ればいいか迷ってしまう。
- 社会福祉協議会を知らない。



まちや人のために何かしたい

- 一緒に活動する仲間が少ない。
- 地域で何か始めたいけれど、参加のきっかけが見つからない。
- 活動を一緒に広げたいけれど、近くにどんな団体があるか知らない。
- 空き家やスペース等の地域の強みが活用されていない。

※1「8050 問題」：80代の親と50代の子が同居し、子が引きこもりや無職などの状態にあることで、親が経済的・精神的に支え続けなければならないことで生じる社会問題

※2「ヤングケアラー」：本来大人が担うとされる家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを日常的に行っている18歳未満の子ども

みらい ～こういう「まち」になったらいいな～



ひとりぼっちにならない

- 自然に見守り合えるあたたかい関係がある。
- 人とつながるきっかけや場が、身近にある。
- ふらっと立ち寄って、ほっとできる場所がある。
- 一人暮らしでも、安心して暮らせるつながりがある。



居心地がいい

- 一人ひとりの困りごとに合った、やさしい支えが届いている。
- 地域のさまざまな場に福祉の情報が自然に届いている。
- 自分のまちのことを知り、関心を持てる機会がある。
- 災害のときも情報が届き、だれも孤立しない。



困ったときに相談しやすい

- どこに相談すればいいかすぐわかる。
- 制度だけでは解決できない悩みも、迷わず、頼れる窓口がある。
- 社会福祉協議会のことを、身近に感じられている。



「やってみたい」を形にできる

- 一緒に取り組める仲間が身近にいる。
- 「やってみたい」を気軽に相談でき、一歩を踏み出せる場所がある。
- 活動したい人同士が、自然につながっている。
- 空いている場所や資源が、人がつながる場として活かされている。



みらいのために ～今からできること～

「ふくし」や「ささえあい活動」について調べてみる

「ふくし」や「ささえあい活動」の情報を知っている人が増えると、困ったときに自分で相談できる人、相談するよう誰かに声掛けをしてくれる人、「何か行動してみよう」という人が増えるかもしれません。

どこに相談したらいいかわからない困りごとについて、相談できる窓口があるらしい。



「ささえあい活動」ってそもそもどんなことをやっているのだろう？



興味のある活動に一度参加してみる

講座やボランティアに参加するのは、最初はとてもハードルが高いかもしれませんが、一度参加してみると、「こういうものなのか」「自分でもできるかもしれない」「この内容はあまり自分には合わないな」など、次のステップに進むためのヒントを得られるかもしれません。

府中市や社会福祉協議会、市民活動センターが開催している講座で、 興味があるものを見つけたら、とりあえず一度参加してみる。



今の自分にできそうな活動を探してみる。相談窓口に聞いてみる。



身近にいる人の「いつもとちがう様子」を気にかけてみる

ちょっと気になったまわりの変化が、誰かの「困っているサイン」かもしれません。そのサインに気づき、声をかけてみたり、相談窓口に連絡をしてくれる人が増えると、解決に早くつながるかもしれません。

いつもきれいに庭を整えていたご近所の家が、最近は木が伸びたままになっている。何かあったのかな？



最近いつもゴミの日を間違えている家がある。前はそんなことはなかったのに…



小学生2人だけで、毎日お弁当を買いに来る子どもたちがいる





みらいのために何か活動を始めたい！その相談先をご紹介



あなたの興味やライフスタイルにぴったりの活動について相談できます。

府中ボランティアセンター

ボランティア活動をしたいという人に対して、関心のあること、得意なこと等をお聞きして、その人の思いや力を活かせる活動先をご紹介します。また、お手伝いをお願いしたいという人に対して、ご依頼の内容を確認して、ボランティアしてくださる方とのマッチングを行っています。ボランティア活動は市民社会を育む力となります。お気軽にご相談ください。

ボランティア・協力会員入門研修

ボランティアを始めたい方、家事や介護の手伝いなど、身近な地域で助け合い活動を始めたい方へ、活動を始める前の説明会を毎月開催しています。



地域福祉コーディネーター

地域福祉コーディネーターは、生きづらさを感じている人に寄り添い、困りごとの解決に向けた支援を行う際に、孤立した生活にならないように地域内の多様な方々と一緒に生活を支えていきます（個別支援）。また、多様な人々が交流・学習できる機会が広がるように「わがまち支えあい協議会」等の地域活動を支援しています（地域支援）。



困りごと相談会

地域福祉コーディネーターが暮らしのお困りごとの相談をお聴きし、解決に向けて一緒に考えます。「どこに相談したらいいかわからない」「誰かに聞いてほしい」といった、ちょっとした暮らしの心配事などを身近な地域で、相談できる場所として「困りごと相談会」を各文化センターで週3日開催しています。

開催日時は
二次元コードから
ご確認ください





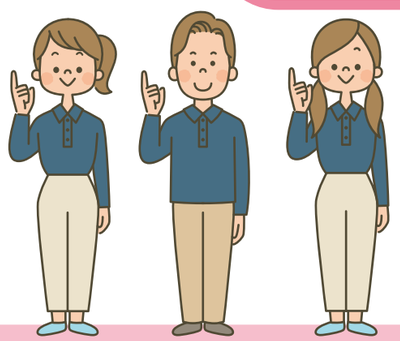
問合せ先は、いずれも、
府中市社会福祉協議会コーディネーター担当へ
電話　042-334-3040
メール fuwari@fsyakyo.or.jp



どんな活動に向いているかな？



「あまり深く考えずに思ったとおり、たどってみましょう。さあ、あなたは何タイプ？」



START
人が喜んでいると、自分も嬉しくなる

YES →
NO →

人のお手伝いをするのが好きだ
地域の行事には積極的に参加する方だ
おもしろいからといって危険を冒すようなことはしない
流行には敏感な方だ
趣味やサークル活動の中心となって動くことが多い
間違い探しが得意だ

仲間と力を合わせて何かするのが好きだ
人と接する仕事をしてみたい
思い立ったらすぐに行動する方だ
何事も計画を立ててから実行する

A

規則や決まりより人の気持ちが大切
好きなことを我慢したり、自分が犠牲になっても人の役に立つことをしたい
冗談を言って人を笑わせることがある
物事の筋は通す方だ
粘り強い方である
ゲームやパソコン作業が好きだ



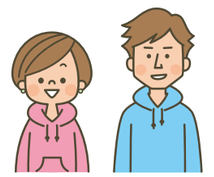


A に進む

見知らぬ人でも困っていると助けずにはいられない
初対面の人とも気軽に話ができる
頭の切り替えが早い方だ
人づきあいが苦手だ
人の好き嫌いは少ない方だ

無理なことでも頼まれると努力してしまう
どんな人とでも気軽につき合っていける
イベントの企画を考えるのが好きだ
家のことや家事をよく手伝う
人に教えたりすることが好き

外で体を動かして活動するのが好きだ
人前に出てもあがらない
体力・運動には自信がある
街には緑が多い方がいいと思う



① いろいろ助けてあげタイプ
やさしい心の持ち主で、困っている人などをみると一生懸命世話をしようとするあなたに向いているボランティアは…
- **介助全般、調理、洗濯、掃除、保育 など**

② よろこび分かち合いタイプ 生活文化派
困っている人の生活を豊かにするとともに、人と接することに喜びを感じるあなたに向いているボランティアは…
- **話し相手、施設に入所されている方との手紙の交換、募金活動 など**



③ よろこび分かち合いタイプ レジャー・スポーツ派
豊かな生活を送る手伝いをし、戸外で楽しみながら活動したいと思っているあなたに向いているボランティアは…
- **子どもの遊び相手、旅行・買い物介助 イベント参加介助 など**

④ 楽しませタイプ
度胸があり、人を楽しませたり、楽しめることを企画することが得意なあなたに向いているボランティアは…
- **催し物企画、レクリエーションリーダー、演芸、施設訪問、コンサート など**

⑤ いろんなこと教えタイプ 生活派
体力には自信がないけれど、役立つことを人に教えたりするのが好きなあなたに向いているボランティアは…
- **学習支援、音楽指導 など**

⑥ いろんなこと教えタイプ レジャー・スポーツ派
体を動かすことや、スポーツなどを教えたりすることが好きなあなたに向いているボランティアは…
- **レクリエーションやスポーツなどの指導手伝い**

⑦ 目立たず役に立ちタイプ 生活派
人と接することがあまり得意ではないが、家の中のことや身の回りのことをするのが好きなあなたに向いているボランティアは…
- **手芸品（プレゼント用）の作成、使用済み切手収集 など**

タイプ別の活動紹介は
次ページをご覧ください

⑧ 目立たず役に立ちタイプ 環境派
花や草木が好きで、人の世話をするより植物などの世話をすることが得意な環境派のあなたに向いているボランティアは…
- **植樹、植木の手入れ、公園などの清掃活動、環境保全活動 など**

⑨ 目立たず役に立ちタイプ 文化派
あまり目立たないが、裏方となって細かな作業や、根気のいる作業をするのが得意なあなたに向いているボランティアは…
- **資料作り、拡大図書作り、点字本作り、催し物手伝い、朗読ボランティア など**

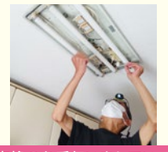
（社会福祉法人中央共同募金会の『アクションガイド vol.5』ボランティアチェックシートを参考に一部改変）



活動したい方へ
府中市内でできるタイプ別活動紹介
～ 一歩踏み出すヒント その1～



① いろいろ助けてあげタイプ


電気交換のお手伝いをしている様子

掃除や料理、子どもの送迎など、ちょっとした隙間時間にできるお手伝いを、必要としている人がいます。また、災害が起きた際にスムーズに動けるよう日頃からの備えになる活動が市内にはたくさんあります。

活動例　生活支援（ちょこっとお手伝い）、災害ボランティア、車椅子の補助（軽スポーツ大会等）

② よろこび分かち合いタイプ 生活文化派


街頭募金活動の様子

傾聴ボランティアとは、誰かに話をきいてほしいという方のお話を聞くボランティアです。福祉施設の利用者さんの話し相手など、活動できる場所があります。

活動例　傾聴ボランティア、募金活動の協力

③ よろこび分かち合いタイプ レジャー・スポーツ派


子ども食堂の様子

子ども食堂では、調理や子どもの遊び相手、自治会活動では地域のお祭りの実施や町内清掃など、様々な団体・活動内容があります。

活動例　子ども食堂、自治会活動、イベントのお手伝い

④ 楽しませタイプ


福祉まつりに出演

市内の福祉施設やサロン、お祭りなどの催し物等で一芸（楽器の演奏、歌、踊り、手品、落語など）を披露するなど、得意なことや特技を活かした活動も可能です。

活動例　一芸ボランティア、地域のお祭りのお手伝い

⑤ いろんなこと教えタイプ 生活派


子ども学習サポートの様子

子どもの学習のサポートをする学習支援や外国人への日本語を教える日本語教室の他、自分の得意なこと（音楽・習字・パソコンなど）を福祉施設の利用者さんや地域のサロン等で教えたりする活動があります。

活動例　学習支援、日本語教室、趣味や特技を活かしたボランティア

⑥ いろんなこと教えタイプ レジャー・スポーツ派


介護予防体操のお手伝いの様子

福祉施設や介護予防教室等では、体操やレクリエーション補助に加え、スポーツやレジャーの経験を活かして利用者の活動や健康維持をサポートする、多様なボランティアがあります。

活動例　施設でのレクリエーションの補助、介護予防教室

⑦ 目立たず役に立ちタイプ 生活派


食品寄付受付の様子

切手の整理や食品寄付の受付・整理は人と関わるよりも、一人で活動したい方や、黙々と作業するのが好きな方、整理整頓が得意な方へおすすめの活動です。

活動例　使用済み切手の整理、まちづくりニュース配布、食品寄付の受付・整理

⑧ 目立たず役に立ちタイプ 環境派


地域の清掃活動の様子

環境や美化活動の分野に関心があり、何か活動してみたい方には、援農ボランティアや、町なかや河川敷のゴミ拾いなどを行う、地域清掃などの活動があります。

活動例　援農ボランティア、地域清掃活動、チラシ配布ボランティア

⑨ 目立たず役に立ちタイプ 文化派


点訳ボランティアの様子

時間が限られていたり、体力を使う活動が難しいという方でも、地域のために取り組める活動があります。

活動例　点訳ボランティア、朗読ボランティア、寄付・募金、ホームページ作成、広報紙・チラシ作成

地域のために何かしたい方へ
～ 一歩踏み出すヒント その2～




わがまち支えあい協議会の紹介

わがまち支えあい協議会（わがまち）は、地域住民や団体が身近な「困りごと」に気づき、自分たちで解決していく仕組みです。

府中社協では、住民活動の基盤として、第3次地域福祉活動計画期間（平成27年度～令和2年度）で立ち上げに向けた準備を行い、第4次地域福祉活動計画期間（令和2年度～令和8年度）においてその取り組みの発展・強化を推進してまいりました。

現在は、市内11の文化センター圏域において、それぞれの地域ニーズに合わせた多様な活動を展開しています。

困りごと



住　民

終活をしているが、物を捨てることが大変。どうしたらいいのか。



保護者

通学路にあるコンビニが子どもたちの登校時間に車の出入りが多く心配。





活動者

ご近所さん同士で話す機会がなく、孤立している人や孤独を感じている人が多い。



活動者

活動の地域への浸透が課題。活動を続けて、地域の力になるためにもPRが不可欠と思っている。

話し合い

ガレージセール



わがまちメンバーよりガレージセールを開催できればいいのではと発案があり、他団体が行うガレージセールを見学。
その後開催することになりました。

見守り活動



わがまちメンバーである民生委員より、定例会で困りごとが共有され、住民ができることとして「見守り活動」に取り組むことになりました。

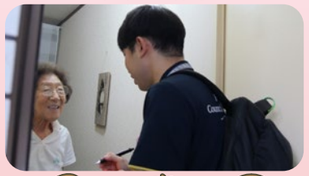
定例会風景





わがまち支えあい協議会
地域住民で組織されている

訪問の様子





地域福祉コーディネーター
様々な地域資源と連携しながら、解決に向けてお手伝いします。

居場所作り



「実家を開放するので、地域の交流の場として活用してほしい」という方と出会い、居場所作りをはじめました。

ゴミ拾い チラシ配り



PR強化のため、会の名前とカバのイラストが入ったビブスを作成。人が集まる場所を選び、ゴミ拾いをしながらチラシを配る活動を始めました。

解決策

ゆずり♡マーケット



活動者

お子さんを連れた家族が来てくれました。思い出の品が活用されると思うと嬉しいです。
会のPRにもなりました!

八小登校時の見守り



活動者

低学年の頃はいつも一人で列の最後を歩いていた子が、学年とともに成長していく姿を見てやりがいを感じています。

昼カフェ・つながり



活動者　参加者

お互いの特技を生かし、知り合うことで、交流の場が広がっています。

初参加は不安でしたが、皆さんの温かさで毎月の楽しみになりました。

カバさんのおそうじ



活動者　住 民

まちも綺麗になり、活動の周知も進みました。顔の見える交流ができるので、手応えを感じています。

すごい活動だわ。これなら自分にもできそう!

紅葉丘文化センター圏域
（朝日町、多磨町、紅葉丘、若松町３～５丁目）

わがまちありすの会 ～朝日・多磨・紅葉・若松～
スローガン
みんな知り合い、ウキウキワクワクそしてありがとう

活動目標
活動を通じてひとりぼっちでいる人と知り合い、つながるきっかけを作る。どんな人でも活躍できる、お互いさまの活動を作り出す。

メンバーの皆さん


押立文化センター圏域
（押立町、車返団地）

押立・車返ささえあい協議会
スローガン ささえて ささえられて OKっす！

活動目標
地域のみんなが幸せになれる、支えあいのしくみづくり。OKSを地域の方々に知ってもらう。課題解決に向け一緒に活動してくれる仲間を募る。
地域の方が楽しんで参加してくれるイベントを開催する。

メンバーの皆さん


片町文化センター圏域
（片町、寿町3丁目、日鋼町、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、矢崎町、美好町（3丁目の一部を除く）

かたまち支えあいの会
スローガン
地域住民や団体と顔の見える関係づくり

活動目標
地域住民や関係団体等との連携・協力により、地域の支えあい活動をひろめ、住民主体のまちづくりに寄与する。

メンバーの皆さん


武蔵台文化センター圏域
（武蔵台・北山町・西原町）

武蔵台・北山・西原ささえあいの会
スローガン
いざという時のために、顔見知りの輪を広げよう

活動目標
それぞれの活動を充実させ、広報をすすめ、関わる人を増やしていく。

メンバーの皆さん


白糸台文化センター圏域
（小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、白糸台（車返団地を除く）、若松町1・2丁目）

ささえあいの会 ～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～
スローガン
世代を越えて顔見知りに

活動目標
地域の人同士でできる助け合い活動を盛り上げていく。
ささえあいの会の活動を地域へ浸透させる。

メンバーの皆さん


是政文化センター圏域
（小柳町2・4～6丁目、清水が丘1・2丁目、是政）

わがまち支えあいの会 ～小柳・是政・清水が丘エリア～
スローガン
住民同士の助けあいの意識を広める
今あるサービス、支援では拾いきれない課題に対応していく

活動目標
市民が支えあい、助けあい、みんなが住み良いまちになるよう、地域・世代を超えた交流の輪を広げ、活動すること。

メンバーの皆さん


西府文化センター圏域
（東芝町・西府町・日新町1～4丁目・本宿町・美好町3丁目の一部）

にしふエリアささえ愛の会
スローガン
「地域のつながりをつくろう！」
「いつでも声を掛けあえる・支えあえる地域に！」

活動目標
幅広い地域のつながりをつくり、地域の声に耳を傾ける。活動を通して顔見知りの関係になり、普段から声を掛け合える地域をつくる。会の周知を通して活動目的や自分たちができることを広め、会につながる人を増やす。

メンバーの皆さん


住吉文化センター圏域
（住吉町・分梅町２～5丁目・南町）

住吉・分梅・南町ささえあい協議会
スローガン
1人ぼっちを作らない、笑顔があふれる地域をつくる

活動目標
サロンや放課後の子どもの居場所づくりを通じて孤立を減らし、笑顔で共に過ごせる時間につなげていく。「助けてほしい」という声を受け止め、ちょっとしたお手伝いを通して、今できることに取り組む。

メンバーの皆さん


新町文化センター圏域
（新町、栄町、浅間町、幸町3丁目、天神町３・４丁目、晴見町３・４丁目）

新町ささえあいの会
スローガン
支えあい、助け合い、住みよい地域を

活動目標
地域住民が顔と顔の見える「つながり」を大切に、孤立しない、お互いにささえあえる地域をつくること。地域の子どもたちの安全を見守る。

メンバーの皆さん


中央文化センター圏域
（寿町1・2丁目（3丁目の一部） 幸町1・2丁目、府中町、晴見町1・2丁目、宮町、宮西町1丁目、八幡町、緑町、日吉町、天神町1・2丁目）

中央ささえあいの会
スローガン
みんなでささえあえるまちづくり
～困ったときはお互いさま・心のバリアフリー～

活動目標
孤立のない地域をめざし自分たちの町を住みよい町にするためのささえあい活動を行う。

メンバーの皆さん


四谷文化センター圏域
（四谷・日新町５丁目）

ささえあい四谷 ～四谷・日新町５丁目～
スローガン
高齢者から子どもまで、地域で孤立した人を作らない
地域でいろいろな活動をしている個人・団体とつながるようにする

活動目標
活動を通して地域のニーズをしり、地域住民とのコミュニケーションを図る。
サロンなどの居場所を通して地域住民の孤立を防ぐ。
地域の子供たちの安全を守り、見守る。

メンバーの皆さん


わがまちの声


60代女性

勤務先での地域貢献をきっかけに会に参加しました。自身は、皆さんすごいな、と学びの場として関わっています。色々な想いを持って参加する地域の方がいますし、新しい方も入ってきてくれる素敵な場所です。


40代男性

困りごと相談会でコーディネーターから会を紹介してもらい、何か力になれるかなと思い参加しました。仕事のすきま時間でしか参加できませんが、それでもいいと思ってくれる方々がいてくださり安心します。若い人にも気付いてほしいと思い、活動しています。

わがまちの具体的な取り組み
（令和８年8月末現在）



※製本時
折りこまれ、
見えなくなる部分

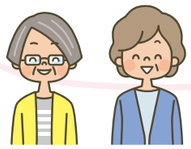
❶「食」を通じた取り組み ♥

食べるものにお困りの方へ、フードドライブやフードパントリーなど、食の支援を行っている。フードドライブとは、ご家庭などで余っている食品の寄付を集める活動。フードパントリーとは、食べるものにお困りの方へ食品をお届けする活動。食を通して人や地域とつながることを目的に活動している。

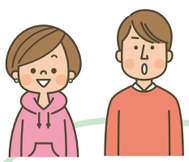


取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央・片町
武蔵台・西府・住吉・四谷







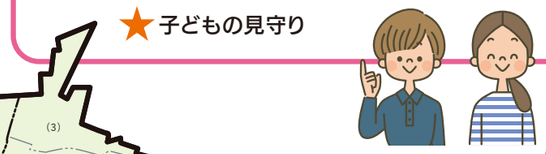
❷居場所・交流 ♣

高齢者も子どもも障害のある方も、どなたでも参加できる地域の居場所。住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがいを持ち安心して暮らしていくための交流の場。

取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央
片町・武蔵台・西府・住吉・四谷

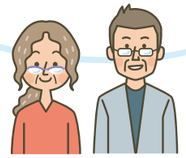




地図上にあるマークの説明

地図にあるマークは各文化センター圏域で行われている地域活動を表しています。ご参考にしてみてください。

- ♥「食」を通じた取り組み
- ♠ちょっとした生活支援
- ♣居場所・交流
- ♦PR・その他
- ★子どもの見守り



❹ちょっとした生活支援 ♠

電球交換やゴミ出しなど、公的サービスでは難しい、住民同士でできる30分程度のちょっとしたお手伝い。活動を通して顔見知りになり、地域のつながりを作っていくことが目的。

取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政
新町・中央・片町・武蔵台
西府・住吉・四谷



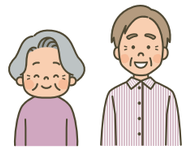


❸子どもの見守り ★

登校時や下校時、交通量の多い道などで旗を振り、子どもたちが安心して通行できるように見守りをしている。また、放課後の見守りや、学童クラブからの帰宅に同行するなど、地域で子どもたちを見守っている活動。

取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・西府・住吉・四谷



❺PR ♦

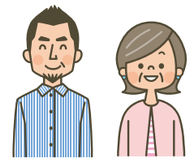
地域活動をより多くの方に知っていただくために地域清掃やチラシ配布するPR活動をしている。

取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町
中央・片町・西府・四谷・武蔵台

❻その他 ♦

住んでいる地域を知るためのまち歩きや、子どもたちと花壇にお花を植える子どもボランティア体験などがある。また、防災講座や企業とタイアップした食育講座なども行っている。



取り組みをしている圏域 是政・押立・白糸台・新町・四谷

府中市社会福祉協議会が取り組むこと

1. 府中市社会福祉協議会「第1次中期経営計画」について

本冊子「第5次地域福祉活動計画（あったか府中ささえあいプラン）」で描いた、「地域のみらい」を実現していくために、府中社協が、どのような組織を目指し、どう成長していくかを、この計画とは別の「第1次中期経営計画（令和9年度～14年度）」に記しています。

2.「第５次地域福祉活動計画」と「第1次中期経営計画」の連動

本冊子
「第５次地域福祉活動計画」
みらい
～こういう「まち」になったらいいな～



「第１次中期経営計画」



ひとりぼっちに ならない まち	**つながり・居場所の創出** ・多世代が交流できる居場所づくりを支援する ・見守り団体と連携し、早期発見のネットワークをつくる
居心地がいい まち	**自分らしい暮らしの伴走** ・本人の希望に寄り添い、将来設計を一緒に考える ・部署横断の事例検討を通じ、複合的な課題に対応する体制をととのえる
困ったときに 相談しやすい まち	**解決へつなぐ相談ネットワーク** ・わかりやすい「相談の入り口」を広く周知する ・たらい回しを防ぎ、専門機関へ確実につなぐ
「やってみたい」を 形にできる まち	**新たな活動・出番の応援** ・新しい地域活動や担い手を発掘し、応援する ・地域を知り、学び、参加につながる機会をつくる

府中社協では、「第1次中期経営計画」に基づき、地域福祉活動や相談支援、福祉サービスの充実に加え、組織運営の強化にも取り組んでいきます。

今後も「地域のみらい」の実現に向けて、地域の皆さまや関係機関とともに取組を進めてまいります。

第5次地域福祉活動計画策定委員会について

概要説明

地域福祉活動計画策定委員会設置要綱に基づき選出された15名の策定委員に、専門的な立場や視点からさまざまな意見や情報提供をいただきました。

開催期間　令和7年7月～令和9年1月
開催回数　9回



委員名簿

	氏名	選出区分	所属
委員長	高橋　史	社会福祉等関係施設・団体	肢体不自由児者父母の会
副委員長	菱沼　幹男	学識経験者	日本社会事業大学
	村上　乃梨子	社会福祉等関係施設・団体	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
	野尻　俊介	社会福祉等関係施設・団体	社会福祉法人 多摩同胞会
	越川　幸子	社会福祉等関係施設・団体	府中市民生委員児童委員協議会
	石川　将人	社会福祉等関係施設・団体	府中市青少年対策地区正副委員長会
	伊藤　博康	社会福祉等関係施設・団体	府中市立小中学校 PTA 連合会
	森岡　潤家	社会福祉等関係施設・団体	府中地区保護司会
	久保寺　治	地域団体	府中市自治会連合会
	土橋　優介	行政関係者	府中市福祉保健部地域福祉推進課
	長田　真紀子	福祉活動を行う者	わがまち支えあい協議会 （わがまちありすの会）
	中井　一博	福祉活動を行う者	わがまち支えあい協議会 （にしふエリアささえ愛の会）
	大谷　英仁	福祉活動を行う者	登録ボランティア・団体
	加藤　哲康	社会福祉協議会常務理事	社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
	柏木　直人	社会福祉協議会常務理事	社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

策定委員会の様子・意見

策定委員からのひとこと

策定委員からのひとこと

調査等

実施した調査

地域福祉活動計画に関する職員アンケート

目　　的：第5次地域福祉活動計画策定資料
調査対象：職員
調査期間：令和７年３月25日～４月9日
回答結果：159人
実　　施：社会福祉法人府中市社会福祉協議会



参考にした調査

府中市民地域生活に関するアンケート調査

目　　的：市民ニーズの把握
調査対象：府中市内で暮らす世帯の半数
調査期間：第1期：令和４年10月～11月末
　　第2期：令和５年８月～10月末
回答結果：17,597枚（第1期および第2期合計）
実　　施：社会福祉法人府中市社会福祉協議会

「あなたの声が未来をつくる」福祉に関するアンケート調査

目　　的：市民の生活・活動状況、日ごろの悩みと相談状況および、府中市の地域福祉及び福祉のまちづくりに関する意見、要望等を把握する。
調査対象：令和７年10月１日現在の住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民3,000人
調査期間：令和７年10月17日～11月４日
回答結果：1,501人
実　　施：府中市福祉保健部地域福祉推進課

『地域の課題の種』アンケート

目　　的：地域で暮らす方（主に高齢者）の「困りごと」を知り、集まった「困りごと」から、地域住民、専門職、市全体として、今後取り組むべき課題を整理する。
調査対象：わがまち支えあい協議会活動者、地域なんでも相談員、サロン活動者
調査期間：令和６年６月～７月末
回答結果：118名
実　　施：府中市福祉保健部高齢者支援課 社会福祉法人府中市社会福祉協議会 共同実施

府中市立心身障害者福祉センター 認知度等に関するアンケート調査

目　　的：障害者福祉の向上に加え、より豊かな地域社会づくりの一環として、当施設の活用について検討する。
調査対象：心身障害者福祉センター近隣住民（9,830世帯）
調査期間：令和6年10月1日～11月30日
回収結果：有効回答数 1,351人
実　　施：府中市立心身障害者福祉センター

11圏域別グループディスカッション

目　　的：地域で活動している団体の方々から地域における課題と課題解決のためにできることを把握し、地域力の強化の方向性を検討する。また、府中市全体の課題と圏域別の課題を整理し、圏域別の取組を検討する。
調査対象：わがまち支えあい協議会、地域福祉コーディネーター、民生委員・児童委員、自治会・町会、シニアクラブ、コミュニティ協議会、当事者団体、地域包括支援センター等
調査時期：令和7年10月26日、11月1日
実　　施：府中市福祉保健部地域福祉推進課

調査結果から

※本ページの内容は、前ページでご紹介した各調査結果の抜粋です。それぞれの結果がどの調査に対応しているかは、各項目の頭にあるマーク（前ページと共通）をご確認ください。

地域の課題の動向

複雑な課題や複合的な課題を抱えた人や世帯について、職員が感じる動向は、**６割**が**「増えてきている」と回答しています。**

近所づきあい

近所づきあいについて、**「個人的なことを相談し合える人がいる」**や**「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」**と答えた人を合わせても、全体の**約３割**に留まっています。**近所づきあいをしていない**と答えた人の一番の理由は**「普段つきあう機会がない」**が**約７割**を占めました。

「気軽に集まれる場が少ない」、「誰もがふらっと立ち寄れる場がない」という声がありました。

地域での活動やボランティアへの参加

地域での活動やボランティアをしている人は約２割で、**参加できない理由**は「仕事や勉強・家事・育児・介護等で時間がないから」が約４割で最も多く、次いで**「きっかけがない」３割**でした。

地域での活動やボランティアに取り組んでみたいと考えている人は、**約5割**にのぼります。参加しやすくなる条件としては**「気軽に参加できること」**が最も求められています。

相談窓口の認知度

「困りごと相談をどこにすればいいか分からない方が多い」という声がありました。

孤立について

社会から孤立を感じる程度は、「たまに・時々・いつも社会から孤立していると感じる」と答えた人は、全体の**約4割**に達しています。

災害への備え

災害に備えて地域でやりたいことは、「物資の備蓄」の割合が高く、それに続いて**「住民同士の声かけや安否確認」**とあり、人のつながりによる助け合いも重視されています。

－MEMO－

